
仕様決定時のご注意

- 受注生産のため、ロットにより多少の差異が生じる場合があります。突き合せ貼りをする際は、同一ロットのものをご使用ください。
- 製品の色が下地の色の影響を受ける事がありますので、仕様決定の際には十分ご注意ください。
- サンプルの上下が、ロールの長手方向になります。また、シートは、ロールの長手方向に接ぎ目が入る場合があります。
- 柄は、ある一定の規則によって繰り返し出力されていますので、特に柄合わせが必要な場合には各柄の「柄リピート」を目安に施工してください（生産上の都合により、実際のリピートピッチと「柄リピート」が異なる場合がありますのでご注意ください）。

作業環境のご注意

- 貼付作業の適温は15～30℃です。冬場の低温時にはジェットヒーターなどで環境温度を上げ、下地基材を温めてから施工してください。また、ドライヤーを併用し、シートの温度を上げて圧着してください。低温下では接着不良によるシートふくれが発生する場合があります。
- 下地処理に用いるプライマーやシーラーには有機溶剤が含まれていますので、換気を十分に行ってください。狭い閉鎖空間で作業する場合は、強制換気ファンなどをご使用ください。また、火気には十分ご注意ください。
- 基材表面の平滑性が仕上がり大きな影響を与えますので、「基材別下地調整方法」を参考に、施工前に十分な下地処理を行ってください。また、ゴミ、油などの付着物は完全に取り除いてから施工してください。
- ちりやホコリの多い場所での施工は避けてください。シートと基材の間にちりやホコリが入ると、仕上がり凹凸ができたり、気泡が発生する原因になります。また、シート表面にちりやホコリが付着すると、意匠が損なわれます。
- シートは、湿気や直射日光を避け、風通しの良い冷暗所で保管し1年以内に使用するようになっています。

施工上のご注意

- 意匠性に富むエンボス加工をしていますので、突き合わせ貼りをした際、反射光の加減によっては左右の色合いが違って見えることがあります。事前にご確認いただき、問題ある場合は目地取りをしてください。また、隣り合わせのシートは流れ方向を統一して施工してください。
- シートを過剰に引き伸ばすと、色調や柄を損なうことがありますのでご注意ください。
- 突き合わせ貼りをした際、経時の環境変化により、突き合わせ部に隙間が生じる場合があります。色目によっては目立つことがあるため、突き合わせ部の下地に同系の色を塗っておくことをお勧めします。
- 裁断位置により、突き合わせ部の左右、上下の色目が異なって見える場合があります。突き合わせ貼りをする場合は突き合わせ部を目線位置から外すなど、目立ちにくい位置にくるように施工してください。
- 施工前に強く押さえたり鋭利な治具で触れたりすると、のり面を傷つけ、仕上りに影響する恐れがあるのでご注意ください。
- シートをあらかじめカットして保管する場合は、製品面を上にし緩く巻いてください。強く巻くと、のり面に異常が生じる場合があります。
- 重ね貼りをすると不燃認定の要件を満たさなくなりますのでご注意ください。
- 製造上の都合により、エンボス、柄のピッチがずれる場合がありますので了承ください。
- 直射日光のあたるガラス面には施工しないでください。ガラスが熱割れを起こす場合があります。
- 床面には施工しないでください。磨滅や剥離を起こす場合があります、滑って転倒する危険性もあります。
- プラスチック樹脂の中には、ふくれ・剥れを起こすため下地基材に適さないものがあります。（ポリカーボネート、ターポリンなど）。事前にご確認ください。
- 木材に貼ると、膨れが発生する場合があります。事前にご確認ください。

基材別下地調整方法

貼付基材	木材 ラワンベニア シナベニアなど	石膏ボード (プラスター板)	ケイカル板	モルタル (金ゴテ仕上げ)	塩ビ鋼板 焼付塗装鋼板 亜鉛メッキ鋼板	アルミニウム ステンレス
前処理	固定 釘頭の処理			乾燥状態確認	表面研磨	
	汚れ除去					
シーラー処理	-	ハケ、ローラーで下地に全面塗布し、面が十分乾燥してから次工程を行います。溶剤系シーラーが密着性良好です。*1 ■溶剤系/プライマーK(ヤヨイ化学工業(株)) ■水系/シーアップ(ヤヨイ化学工業(株))				-
パテ処理	パテベラにて下パテで凹部を埋めた後、上パテが乾燥してから次工程を行います。 粉末パテには、5～10%水生ボンドを添加してご使用ください。 ■下パテ/SUPERビックワン(ヤヨイ化学工業(株)) ビス穴用パテ(メーコー(株)) ■上パテ/SUPERハイセメナ(ヤヨイ化学工業(株)) アクリパテ(メーコー(株))					ポリパテ処理を行ってください。 ■ロック車両下地用(ロックペイント(株))
表面研磨	#180以上の細かいサンドペーパーで表面研磨し、平滑にします。					
表面清掃	アルコールを含ませた布でふき取ります。					
プライマー処理	施工面全体にハケで塗りむらが出ないように均一に塗布します。塗布後は30分以上乾燥させてください。*2 ■ソックンプライマーマイルド(ヤヨイ化学工業(株)) ボンドG-00(コニシ(株)) ■パロアブラマー「PP-2100」*3(リンテックサインシステム株式会社)					

メンテナンスについて

- 日常的な汚れは水で濡らしたスポンジや柔らかい布などで洗浄してください。研磨剤が入ったスポンジは使用しないでください。
- 洗浄の際、シンナーやトルエンなどの溶剤は使用しないでください。色落ちする場合があります。
- 張り替えなどによりシートを剥がす際、下地の種類によっては基材を傷めるおそれがありますのでご注意ください。

防火認定について

●NM-4783

対応下地：建設省告示第1400号（金属板）

●NM-4702

対応下地：建設省告示第1400号（金属板を除く）

不燃認定が運用できる下地材が建設省告示第1400号で規定されています。

金属板：鋼板・アルミニウム・金属板・冷間圧延鋼板（JIS G 3141）・溶融亜鉛・めっき鋼板（JIS G 3302）・冷間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4305）

金属板を除く：コンクリート・レンガ・かわら・陶磁器質タイル・繊維強化セメント板・厚さ3mm以上のガラス繊維混入セメント板・厚さ5mm以上の繊維混入ケイ酸・カルシウム板・ガラス・モルタル・しっくい・石・厚さ12mm以上の石こうボード（ボード用原紙の厚さが0.6mm以下のものに限る）・ロックウォール・グラスウォール板